凡　例　P : Practice : それを実際の現場で実践できる、あるいはそれについて自ら探求できる　　A: Application : それを模擬的に実行できる、あるいはそれについてのより深いまたは応用的な知識を持っている　　K: Knowledge : それについて知っている

熊本大学薬学部薬学科カリキュラムマップ（平成27年度以降入学者）　平成28年3月23日現在

コア教育成果		教育成果	1年次前期							1年次後期									2年次前期									2年次後期														3年次前期																3年次後期								4年次												5年次				6年次				3年次後
			薬学概論Ⅰ	医療倫理学Ⅰ	早期体験学習	物理化学Ⅰ	有機化学Ⅰ	生化学Ⅰ	解剖生理学概論	薬学概論Ⅱ	ジェネリックスキル概論	分析化学Ⅰ	物理化学Ⅱ	有機化学Ⅱ	生化学Ⅱ	分子生物学	病態生理解剖学	薬理学概論	情報処理A－1	物理化学Ⅲ	分析化学Ⅱ	有機化学Ⅲ	生化学Ⅲ	薬理学Ⅰ	導入実習	物理系薬学実習Ⅰ	物理系薬学実習Ⅱ	情報処理A－2	分析化学Ⅲ	有機化学Ⅳ	生薬学	免疫学	微生物化学Ⅰ	発生生物学	薬理学Ⅱ	薬剤学Ⅰ	化学系薬学実習Ⅰ	化学系薬学実習Ⅱ	化学系薬学実習Ⅲ	生物系薬学実習Ⅰ	生物系薬学実習Ⅱ	薬学英語Ⅰ	医療倫理学Ⅱ	臨床心理学	放射化学	有機化学Ⅴ	天然物化学	微生物化学Ⅱ	衛生薬学Ⅰ	薬理学Ⅲ	薬剤学Ⅱ	臨床検査学	物理系薬学実習Ⅲ	物理系薬学実習Ⅳ	生物系薬学実習Ⅲ	生物系薬学実習Ⅳ	生物系薬学実習Ⅴ	薬学英語Ⅱ	有機化学Ⅵ	生体機能化学	衛生薬学Ⅱ	製剤学Ⅰ	薬物治療学Ⅰ	薬物治療学Ⅱ	医薬品情報管理学	医療倫理学Ⅲ	漢方概論	毒性・環境薬学	製剤学Ⅱ	薬物治療学Ⅲ	薬物治療学Ⅳ	腫瘍治療学	臨床薬物動態学	医薬統計学	薬事関係法規	地域薬局学	実務準備実習	薬物処方学	実習前総括講義	病院実務実習	薬局実務実習	看護学	医療経済学	薬局方概論	卒業前総括講義	特別実習
「スーパー薬剤師としての心構え」	S1: 医療の担い手としての使命感・倫理観を持って行動できる	E1: 強い使命感を持って医療に携わることができる E2: 医療における薬剤師の責任者としての役割を果たすことができる E3: 強い倫理観を持って患者とその家族に接することができる E4: 薬剤師に関連する法令を遵守できる	K	K						K	K						K							K								K			K							K	A						K	K								K			K		K	K	K	P		K		A	K	K	K		A	A	A	P	A	P	P	A	A			A
	S2: 医療現場における科学者として自覚ある行動をとることができる	E1: 科学的根拠の価値を客観的に判断できる E2: 科学的根拠に基づいて論理的に思考できる E3: 科学的根拠に基づいて最新かつ有用な情報を収集・提供できる		K		K	K	K		K					K		K			K		K		K	K		K		K			K		K	K		K	K	K			K	A	K	K	K			A	K	A	A	K			K	K	K			A	K	K	K	A	P	A	K	A	A	K	K	A	A	K	K	A	P	A	P	P		P			A
「患者・生活者本位の視点」	S1: 患者・生活者のQOLを理解し、その向上に努めることができる	E1: 患者・生活者の情報を適切に収集できる E2: 患者・生活者のニーズを把握できる E3: 薬剤師の視点から患者・生活者のQOL向上のための対応を提案できる E4: 患者・生活者のQOLの維持・向上に他の医療従事者と対等に関与できる		K				K		K					K		K		K																							K	A	A					A		A	A				K		K			A	K	K	K		P	A	A	K	A	K	K	K			K	A	A	A	P	P	K	A			A
「コミュニケーション能力」	S1: 患者、患者家族、医療チームのメンバーと相互理解ができる	E1: 言語的および非言語的コミュニケーション手段を活用できる E2: 傾聴、共感、理解を示すコミュニケーションを実践できる E3: 個人・文化・社会的背景を踏まえて相互理解に努めることができる		K		K				K	K														K		K															K	A	P					K									K			K					P	A	K			K						A	A	A	P	P	A				A
	S2: 患者、患者家族、医療チームのメンバーと信頼関係を構築できる	E1: 他者の意見を尊重し、協力してより良い解決法を見出すことができる E2: 医薬品適正使用に関する助言などを通してリーダーシップおよびチームマネージメントを実践できる		K							K														K		K															K	A	K														K								P	K						A				A	P	A	P	P	K				A
	S3: 医薬品情報を収集・発信できる	E1: 国内の最新の医薬品情報を収集し、提供できる E2: 海外の最新の医薬品情報を収集し、提供できる		K				K							K		K		A			K						A				K										A	A			K			K		A	A				K	K	A			K		K	K	A	A	A	K	A	A		K	A	A	K	K	A	P	K	P	P		P			A
「チーム医療への参画」	S1: 医療機関や地域におけるチーム医療の概念について説明できる	E1: 医療の仕組みや制度におけるチーム医療の位置づけについて説明できる E2: チーム医療における薬剤師の役割について説明できる E3: チーム医療における他の職種の役割について説明できる E4: 患者中心の医療のあり方について説明できる	K								K						K																K									K	K					K	K									K			K		K	K	A	A	A	K	K	A		K			A	A	A	A	A	P	P	K	A			A
	S2:研究マインドを持った薬剤師の立場でチーム医療の活動に参加できる	E1: 医薬品の有効性を適切に評価できる E2: 副作用の発現状況を的確に把握できる E3: 適切な処方提案ができる															K					K		K									K		K							K	K			K		K	K	K	A	A					K	K			K	K	A	A	A	A	A	K	A	A	A	K	A	A	K	K	A	A	A	P	P		A	A	K	A
	S3: チーム医療に必要な情報を多職種のメンバーと共有できる	E1: 多職種のチームメンバーと論理性を持った討議ができる E2: 薬学的観点からチーム医療に必要な情報を収集できる E3: 相手に応じて適切な情報を提供できる				K					K								K																							K	K						K		A	A				K	K	K			K		K	K	K	A	A	K	A	K			A	A	K	K	A	A	A	P	P	K	A			A
「基礎的な科学力」	S1: 化学物質の構造と物性を理解し説明できる	E1: 化学構造からその物質の特性や作用を推測できる E2: 化学構造と反応条件に基づいて、化学反応を予測できる E3: 化学物質を正しく処分できる				K	K	K		K		K	K	K	K					A	K	K	K	K		A	A		A	K	K				K	K	A	A	A		K				K	K	K		K	K	K		A		K	K		K	P	K	K		A	A			K	K	K		K	K					A	P		P	P			A	K	A
	S2: 生体の構造と機能を理解し説明できる	E1: 生体の構造を理解し説明できる E2: 生体の機能を理解し説明できる					K	K	K	K			K	K	K	K	K	K		K		K	K	K			K		K	K		A	K	A	A	K				A	K					K		K	A	A	K				A	A		K	K	K	A		A	A			P	A		A	A	A					A	P		P	P			A	K	A
	S3: 化学物質が生体に及ぼす影響を説明できる	E1: 医薬品・化学物質の主作用・副作用・毒性を説明できる E2: 医薬品・化学物質の作用機序・体内動態を説明できる						K	K	K			K	K	K			K				K	K	K						K	K	K	K		K	A				K			K		K	K	K	K	K	K	K		K	K	A	A	A	K	K	K	K	A	P	A	K	A	P	A	K	A	K	A	A				A	P		P	P			A	K	A
	S4: 化学物質が環境に及ぼす影響を説明できる	E1: 化学物質が環境に及ぼす影響を説明できる					K	K		K		K	K	K	K						K	K				A				K	K						K	K					K		K	K			A				K			A		K	K	K	A		K	K		A		A							K		A	A		P	P			A	K	A
	S5: 化学物質・生体・環境に関する新たな情報に対応できる	E1: 国内外の情報を適切に収集できる E2: 国内外の情報を活用し解析できる E3: 医療関係者、患者、生活者に情報を発信できる						K		K					K		K		K			K																		A						K			A						A	K	K			A		K	K	A			A		A		K	A	A	K		A	P		P	P		P	A	K	P
「薬物療法における実践的能力」	S1:患者の病態を把握できる	E1:身体所見（フィジカルアセスメント）、年齢、薬歴から患者特性を理解できる E2:症候および該当する疾病について説明できる						K							K		K							K									K		K												K	K	K	K	A				K		K			K		K	K	K	K	A	K		A	A		A			K	A	P	A	P	P			A	K	A
	S2:薬物療法を提案できる	E1:薬物の特性（化学的性質、物性、薬理作用、薬物動態、有害作用）を説明できる E2:リスク・ベネフィット・コストバランスを踏まえて薬学的観点から治療計画を提案できる E3:処方設計を作成できる E4:医療経済的観点を踏まえて適切な後発品を選択できる						K						K	K			K						K						K			K		K	A	K	K	K	A							K		K	A	K			K		K	K	K	K		K	K	K	A		K		K	A	A	K	A	A	K	K	A	P	A	P	P		P	A	K	A
	S3:医薬品を適切に供給できる	E1:製剤の特性（剤形、使用期限、保管場所など）について説明できる E2:調剤を正しく実施できる E3:処方監査・疑義照会を適切に実施できる E4:病態・患者特性を踏まえた適切な服薬指導を実践できる						K							K									K											K															K	A	K		A				K				A	K	K	A		K		P	K	A		K			K	A	P	A	P	P		A	A	K	A
	S4:最新の情報を活用できる	E1:新規医薬品の有効性や治療法（ガイドライン、レジメン、医療制度など）を説明できる E2:新規医薬品の副作用、及び既存医薬品の新しい副作用に関する情報を収集し説明できる E3:最新の医療テクノロジーの情報を収集し説明できる						K							K		K		K													K	K							A							K			K	K						K				K	A	A	K		K		A	A	K	A	K	A	K	K	A	P	A	P	P		A	A	K	A
	S5:薬物動態、副作用、薬物動態を統合して薬物療法を評価できる	E1:薬物動態・薬効・副作用・薬物相互作用を適切に評価できる E2:フィジカルアセスメントを含めた臨床検査結果を活用できる						K							K		K	K						K									K		K	A											K		K	K	K					A	K				K	A	A	K		K		A	A	K	K	A	A		K	A	P	A	P	P		A	A	K	A
「地域の保健・医療における実践的能力」	S1: 地域における保健・医療・福祉の概念について説明できる	E1: 地域の保健・医療・福祉のシステムについて説明できる E2: 地域の保健・医療・福祉における薬剤師の役割について説明できる E3: 地域の保健・医療・福祉における多職種の役割について説明できる	K		K												K																																K									K			K				K			K		K					A	A	A	A	K	P	P	K	A	A	K	A
	S2: 地域における保健・医療・福祉の活動に研究マインドを持って参加できる	E1: 在宅医療の薬物治療計画を提案できる E2: 地域保健に携わることができる E3: プライマリケアおよびセルフメディケーションを支援できる E4: 緊急時医療・災害医療の場で活動できる	K														K																																K							K		K			K							K		K			K		A	A	A	A	K	P	P		A			A
「研究能力」	S1: 薬学領域における研究の位置づけについて説明できる	E1: 薬学領域における研究の位置づけについて説明できる				K	K	K		K					K		K			K		K					K		K			A	K							A	K	K				K		K	K		K		K	K		K	A	K			K							K	A	K		K	A					K		A	A		A			P
	S2: 薬学研究における科学的理論と方法論について説明できる	E1: 薬学研究における科学的理論と方法論について説明できる				K	K	K		K					K					A		K					K		A			K		K			K	K	K	A	K	K				K			K		K		K	K		K	K	K			K							K	P	K			K	A				K		A	A		A			P
	S3: 研究に関する倫理的事項を説明できる	E1: 自らが実施する研究の関係する法令・指針について説明できる E2: 研究の実施、患者情報の取扱い等において配慮すべき事項について説明できる						K							K										K		K						K	K						A		K						K	K				K			K			K				K				A		K	A			K	K	A	A			K		A	A		A			P
	S4: 研究活動を実践できる	E1: 研究課題に関する国内外の研究成果を調査・読解・評価できる E2: 未解決の薬学的問題を抽出し、研究計画を立案できる E3: 立案した計画に基づいて薬学領域の研究を実施できる E4: 新しい知見を論理的かつ客観的に説明・評価できる						K							K							K			K		K					K					K	K	K			K				K			K				K			K	K	K	K		K		A	A					K	A				A	A				K		A	A		P			P
「自己研鑽」	S1: 自己の現状を適切に評価できる	E1: 自己の現状を適切に評価できる		K		K		K			K		K		K		K					K										K				A						A	A			K			K		A	A				K	A	K			K		A	A		P	A	K	A	A			A	A	K	A	P	P		P	P		A			P
	S2: 問題意識をもって目標を設定できる	E1: 問題意識をもって目標を設定できる		K		K		K			K		K		K		K					K										K				A						A	A			K			K		A	A				K	A	K			K		A	A		P	A	K	A	A			A	A	K	A	P	P		P	P		A			P
	S3: 目標の達成のための方法を考え、実践できる	E1: 目標の達成のための方法を考え、実践できる		K		K		K			K		K		K		K					K														A						A	A			K			K		A	A				K	A	K			K		A	A		P	A	K	A	A			A	A	K	A	P	P		P	P		A			P
	S4: 目標到達度を自己評価し、次の目標を設定できる	E1: 目標到達度を自己評価し、次の目標を設定できる		K		K		K			K		K		K		K					K			K		K									A						A	A			K			K		A	A				K	A	K			K		A	A		P	A	K	A	A			A	A	K	A	P	P		P	P		A			P
「教育能力」	S1: 指導的薬剤師の役割について説明できる	E1: 指導的薬剤師の役割について説明できる	K																																							K	K															K								K				K		K					K	P		A	A		A			P
	S2: 医療や研究の場における後進に対する教育・指導の手法について説明できる	E1: 医療や研究の場における後進に対する教育・指導の手法について説明できる																																								K	K															K								K				K							K	A		A	A		A			P
	S3: 医療や研究の場において後進に対する指導を実践できる	E1: 医療や研究の場において後進に対する指導を実践できる																																								K	K															K								K			K								K	A		A	A		A			P
	S4: 高度な薬剤師・研究者となることを常に意識し、指導能力の向上を図ることができる	E1: 高度な薬剤師・研究者となることを常に意識し、指導能力の向上を図ることができる																																								K	K															K								K			A			K					K	A		A	A		A			P